



三井新成 議員

未曾有の災害に対する 防災対策は

魂の入った防災機構をつ くる

質問 … 過去に富士見町内で発生した災害の状況は

町長 … 昭和に入つてから、風水害による土石流災害や、河川の氾濫等幾度となく発生している。

質問 … 明治31年には、境の西の沢で大きな土石流災害が発生、その他に町内でも被害を受けたと聞いている。雨量が300ミリを超えることを想定しているか。

町長 … 過去に学び、国や県の力を借りながら治山、治水を進めている。300ミリを超える雨量を想定した対策を、国・県が行っていると思う。

質問 … 具体的な防災対策は。

町長 … いざ災害という時に、適速性を備えた対応をする。町内11か所に雨量計を備えており、庁舎内のパソコンでモニタリングできるようにする。また、メディアによる正確な情報を入手し、予測可能な災害に対しても、適切な対策をとる。

防災訓練を毎年実施しているが、もつと実際に則した「魂」の入った、きちんと機能する訓練にしていきたい。

質問 … 平成13年度に作成された土砂災害ハザードマップを見直す考えは。また、過去に学んだ危険個所を表記する考えは。

建設課長 … 県が調査して作成したマップだが、今年度富士見町の見直しを行う予定と聞いている。各地区での説明会も県が行ってくれる。調査後に、災害危険箇所を盛り込んだ「土砂災害ハザードマップ」ができる。

□その他の質問
*商工振興条例の限度額の見直しは
*今後の産業構成をどう考えるか



小池 勇 議員

下水道会計は大丈夫か

心配いらない

質問 … 下水道事業従事職員に対する企業マインドとは。

町長 … 徹底した「コスト意識」と同時に、安心・安全は不可欠である。接続率向上、利用料の徴収率向上は、決定的重要課題である。

質問 … 使用料変更の見通しは。町長 … 想定外の大幅人口減がない限り、現行の額を維持していくべきだ。

人口増加対策は、最重要課題として力を入れている。

質問 … 「借金」が106億円もあり、返済財源である「利益」は1億6000万円しかない。「返済計画」に無理はないか。

町長 … 企業債（借金）返済は今後20年以上にわたる。償還財源

としては、利益の他に毎年5~6億円を一般会計から繰り入れ（負担金）している。財源としては、8割程度が国からの交付金として入るため、町の実質負担は1億円程度で、他の事業を圧迫することはない。

使用料を上げることで町の負担を軽くすることは、考えていない。

質問 … 超長期にわたる事業なので、負担を一部後世にゆだねる考えは。

町長 … 人口の大幅減がない限り現行で大丈夫と考える。

■鳥獣害対策について

質問 … 原村、茅野市、北杜市との境界が電牧の大穴になってしまる。対応は。

町長 … 現在未設置の地域は、比較的侵入が少ないところと考えている。市町村間で温度差があるため難しい点もあるが、諏訪広域での取り組みが必要ではないかとの議論はある。